

業界の人材確保・育成の取組

佐賀県空調衛生工業会会長 土井 敏行



新年あけましておめでとございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。

令和の時代を迎え初めての年明けとなりました。

10月には消費税が10%になり、景気の動向が注目されましたが、比較的大幅な落ち込みもなく、今のところ「ゆるやかな回復傾向」との見方です。しかし今後を見据えると楽観するのは早く地方にとっては業種によって隔たりがあり、人手不足は依

然として続いている中で厳しい状況に変わりはありません。

及効果も期待したいところで

沖縄県で開催されました。建設就労環境の整備や労使の意識改革の必要性など課題は多いので

昨年台風が多く発生し、年々激甚化しつつある風水害に悩まされています。

佐賀県は、2023年の「国民スポーツ佐賀大会」に向けて

建設工事が急ピッチで進められております。中でも、「SAG Aサンライズパーク」の建設は、

町、江北町で大きな損害を被りました。被災地では未だに再建途中の方々がおられ、物心ともに

スポーツだけでなく文化的空間

もある大規模施設で、大会後も様々な分野で活用できるとあつて、夢のある佐賀の新しいシンボルとなり地域の活性化に繋がるものと期待感が膨らみます。

今年はおリンピックイヤーで、かなりの経済効果が見込まれるものと思われすが東京一極集中だけでなく、地方への波

昨秋、空調衛生設備業者が一同に会し、業界が抱える現状と課題の討議を行ったための大会が

現場で働く女性には稀でありました。最後、今後も関係者各位のご指導をお願い申し上げます。勝とご多幸を祈念申し上げます。

今年はおリンピックイヤーで、かなりの経済効果が見込まれるものと思われすが東京一極集中だけでなく、地方への波

昨秋、空調衛生設備業者が一同に会し、業界が抱える現状と課題の討議を行ったための大会が

現場で働く女性には稀でありました。最後、今後も関係者各位のご指導をお願い申し上げます。勝とご多幸を祈念申し上げます。

技術士(Professional Engineer)とは

日本技術士会佐賀県支部長 盛永 保弘



新年あけましておめでとございます。

本年、公益社団法人日本技術士会は設立69年目を迎えます。

第二次世界大戦後、「荒廃した日本の復興に尽力し、世界平和に貢献するため、社会的責任をもつて活動できる権威ある技術者」が必要となり、米国のコンサルティングエンジニア制度を参考に「技術士制度」が創設されました。

技術士法は、1957年5月20日に制定されました。技術士等の資格を定め、科学技術が社会や環境に重大な影響を与えることを十分に認識して、技術士倫理綱領の遵守のもと業務の適正を図り、もって科学技術の向上と国民経済の発展に資することを目的としています。

佐賀県支部では、主な事業として、春と秋の年に2回の技術懇話会を開催し、地域に根ざした内容を発信してまいりたいと考えております。

象現象を活かした地域活性化」と題して開催いたしました。本年も、「地域の活性化」をテーマに技術懇話会を開催し皆様と意見交換をして、未来に暮らす人々により良き社会を継承していくけるように尽力させていただきます。

資格は、APEC地域の15エコノミーがAPECエンジニアの登録をする制度に参加しており、IPEA国際エンジニア資格制度についても、その正式なメンバーとして参加しています。技術部門は、機械、船舶・海洋、航空・宇宙、電気電子、

化学、繊維、金属、資源工学、建設、上下水道、衛生工学、農業、森林、水産、経営工学、情報工学、応用理学、生物工学、環境、原子力・放射線、総合技術監理、の21部門です。佐賀県内でも多くの技術士が各技術部門の職種に携わり活躍しております。

象現象を活かした地域活性化」と題して開催いたしました。本年も、「地域の活性化」をテーマに技術懇話会を開催し皆様と意見交換をして、未来に暮らす人々により良き社会を継承していくけるように尽力させていただきます。

謹んで新春のお慶びを申し上げます

2020年 元旦

